

## がん薬物療法計画指示書（肺癌）

主治医（指示医） \_\_\_\_\_

指示日 年 月 日

レジメン名称 キイトルーダ + PEM + CDDP 療法【short hydration】

【1クールの日数 21日】

1. 治療予定期間 \_\_\_\_\_ 年 月 日 ~ \_\_\_\_\_ 年 月 日

・実施クール ( ) クール目/ 4クール

2. 患者情報 診断名 ( 非扁平上皮非小細胞肺癌 )

尚、この4クール併用療法終了後、キイトルーダ+PEM 療法を継続して下さい。

身長 \_\_\_\_\_ cm 体重 \_\_\_\_\_ Kg 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup> Ccr \_\_\_\_\_ mL/min

3. 使用薬剤・投与量

薬剤名	用量	実投与量 (mg)	投与方法	輸液
①キイトルーダ 100mg	200mg/body	200mg (固定用量)	d. i. v.	生食 100mL
②ペメトレキセド (100mg : 500mg)	500 mg/m <sup>2</sup>	mg	d. i. v.	生食 100mL
③シスプラチン (10mg : 50mg)	75 mg/m <sup>2</sup>	mg	d. i. v.	生食 500mL

4. 投与レジメン

・ペメトレキセド投与による重篤な副作用の発現を軽減するため。

シアノコバラミン注射液 i. m.	初回投与 7 日前 ( / ) 以後 9 週毎 ( )	パンビタン末 1g 1×	初回投与 7 日以上前から連日投与 ( / ~)
-------------------	--------------------------------	--------------	-----------------------------

シアノコバラミン注射液及びパンビタン末はペメトレキセドの投与中止または終了する場合、最終投与日から 22 日目まで可能な限り投与する。

投与日	投与時間	薬剤	指示受け 確認	実施	Dr. 確認
Day1 ( / )	30min	生食 250mL + プロイメンド 150mg div.			
	15min	生食 50mL + パロノセトロン 0.75mg + テ'キ'ト 9.9mg div.			
	30min	生食 100mL + キイトルーダ 200mg div.			
	10min	生食 100mL + ペメトレキセド _____ mg div.			
	1hr	ソルデム 3A 500mL + 硫酸マグネシウム補正液 8mL div.			
	1hr	生食 500mL + シスプラチン _____ mg div. (遮光保存) (全量 500mL に調製する)			
	全開で	生食 50mL + フロセミド注 20mg div.			
	1hr	ソルデム 3A 500mL div.			

※インラインフィルター (0.2~5µm) を使用してください。

◎ 内服処方 (制吐剤); Day 2 ( / ) ~ Day 4 ( / )

Rp. 1) デカドロン錠 (4mg) 2錠 / 2× 朝食後、夕食後 3日分

5. 投与時の注意点 (適応患者)

(ア) 腎機能・心機能が十分に維持されていること。また全身状態が良好であること。(PS 0~1)

(イ) 当日シスプラチン投与が終了するまでに、1L 程度の飲水を心掛けるよう患者に促す。また翌日以降も腎障害を予防するため十分な飲水 (通常の飲食に加え 1L 程度の飲水) を摂るよう指導する。(約 3~5 日間)